

<会員による自著紹介>

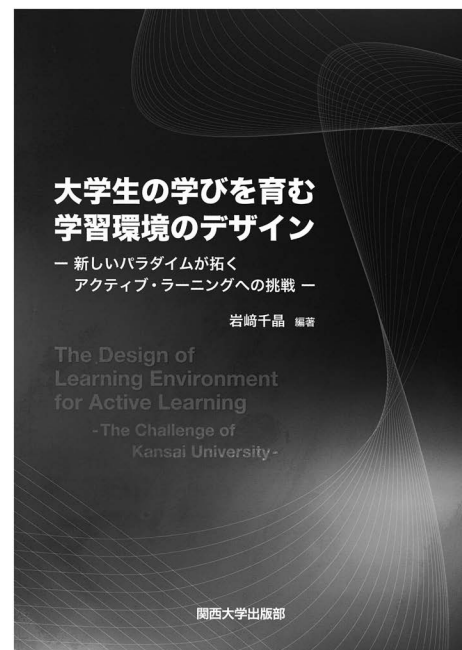
## 大学生の学びを育む学習環境のデザイン —新しいパラダイムが拓くアクティブ・ラーニングへの挑戦—

岩崎千晶 (編著)

関西大学

関西大学出版部 (2014年発行)

定価 2,000円 (税別)



本書は、アクティブ・ラーニングを主軸とした「大学生の能動的な学びを育むための学習環境のデザイン」を構築するための入門書で、理論編と実践編から構成されている。理論編「高等教育における学習環境を考える」は、アクティブ・ラーニングが導入された背景、理念、具体的な手法、学習支援、評価方法について検討している。実践編「学生の能動的な学びを促す学習環境のデザイン」は、「演習」「多人数講義」「ICTの活用」「社会連携」を視점에、関西大学全学部、教育推進部、国際部、会計専門職大学院、留学生別科の教員23名が授業実践を紹介している。

「演習」では教職課程科目、初年次教育、政治教育、ゼミ、スポーツに取り組む学生支援を取り上げ、多彩な側面からアクティブ・ラーニングのデザインを提示している。「多人数講義」では、全学共通科目、理工系科目、他大学との連携科目を事例に、多くの学生と意見交換ができるというメリットを活かした授業デザインを紹介している。「ICTの活用」では、eポートフォリオを活用した日本語教育、フォーラム(電子掲示板)機能を活用した教職課程科目、クリッカー機能を有するS-maqsを活用した授業を事例に、ICTが学生の能動的な学びをどう深めているのかを提示している。「社会連携」では、地域社会、企業、海外と連携しながら学生にとっても、社会にとっても有益な学びとなるには、どのような学習課題を設定すればよいのかを検討している。